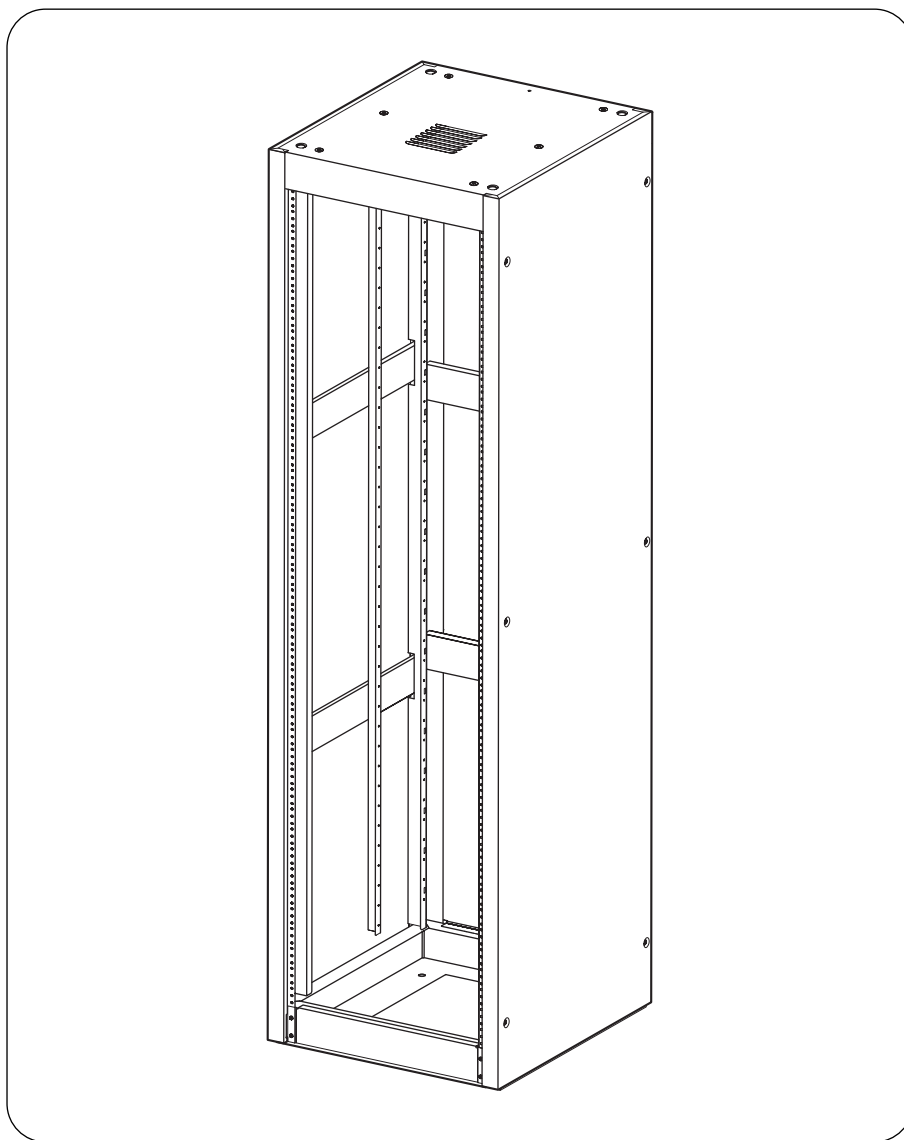


キャビネットラック

41 ユニットサイズ **CR-413-6**

キャビネットラックを設置の際は、この工事説明書をお読みにになり正しく作業を行ってください。
ラックマウント機器の組み込みおよび配線は、各機器に付属の説明書をお読みください。

このたびは、TOA キャビネットラックをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの工事説明書をお読みにになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

目 次

安全上のご注意	3
部品の確認	
構成部品の確認	4
ねじの確認	4
ねじ以外の付属品の確認	4
外観寸法図	5
組み立てかた	
キャビネットラックの組み立て	6
ガイドレールYA-706（別売品）の取り付け	12
ブロウユニットBU-412（別売品）の取り付け	13
ねじカバーの取り付け	13
マイクハンガー 2202（別売品）の取り付け	14
配線ダクト（別途調達品）の取り付け	15
配線の結束	16
キャビネットラックの設置	
非常用放送設備としての設置	17
床面への固定	17
壁面への固定	18
並列設置時のラック間固定	18
ラック吊り下げ時のアイボルトの取り付け	19
ラック設置時の高さ微調節	19
接 地	19

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

行為を禁止する記号



禁 止

行為を強制する記号



強 制



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



禁 止

設置場所の強度を確認する

取付金具類を含む全重量に十分耐えられる強度のある所に取り付けてください。
十分な強度がないと落下して、けがの原因となります。



強 制



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容
および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

転倒・移動防止の処置をする

安定したところに据え付けてください。また、転倒・移動防止の処置をしてください。
守らないと、倒れたり、動いたりして、けがの原因となることがあります。



強 制

開梱や持ち運びは2人以上で行う

1人で行うと、落下したり、転倒したりして、けがの原因となることがあります。



強 制

金属のエッジで手をこすらない

強くこすると、けがの原因となることがあります。



禁 止

上に重いものを置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。



禁 止

製品の上に乗らない

本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。
倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



禁 止

部品の確認

組み立ての前に、各部品の数量をお確かめください。

メ モ

- 各部品、ねじには部品名ラベルを貼り付けていますので、確かめながら組み立ててください。
カバー部品には、裏面に部品名ラベルを貼り付けています。
- ラックマウント機器の取り付けには、必ず各機器で指定のねじ類を使用してください。

● 構成部品の確認

部品名称	数 量
天板	1
ベース	1
前面フレーム 右	1
前面フレーム 左	1
後面フレーム 右	1
後面フレーム 左	1
側面補強金具	4
後面補強金具	2
ガイドレール補助金具	2
上カバー	1
側面カバー 右	1
側面カバー 左	1
ベースカバー 前	1
ベースカバー 後	1
後面カバー	3

● ねじの確認

ねじ名称	数 量
バインドB タイト 5×12	60 (56)
バインドB タイト 4×10	20 (18)
バインド小ねじ M4×8	30 (24)

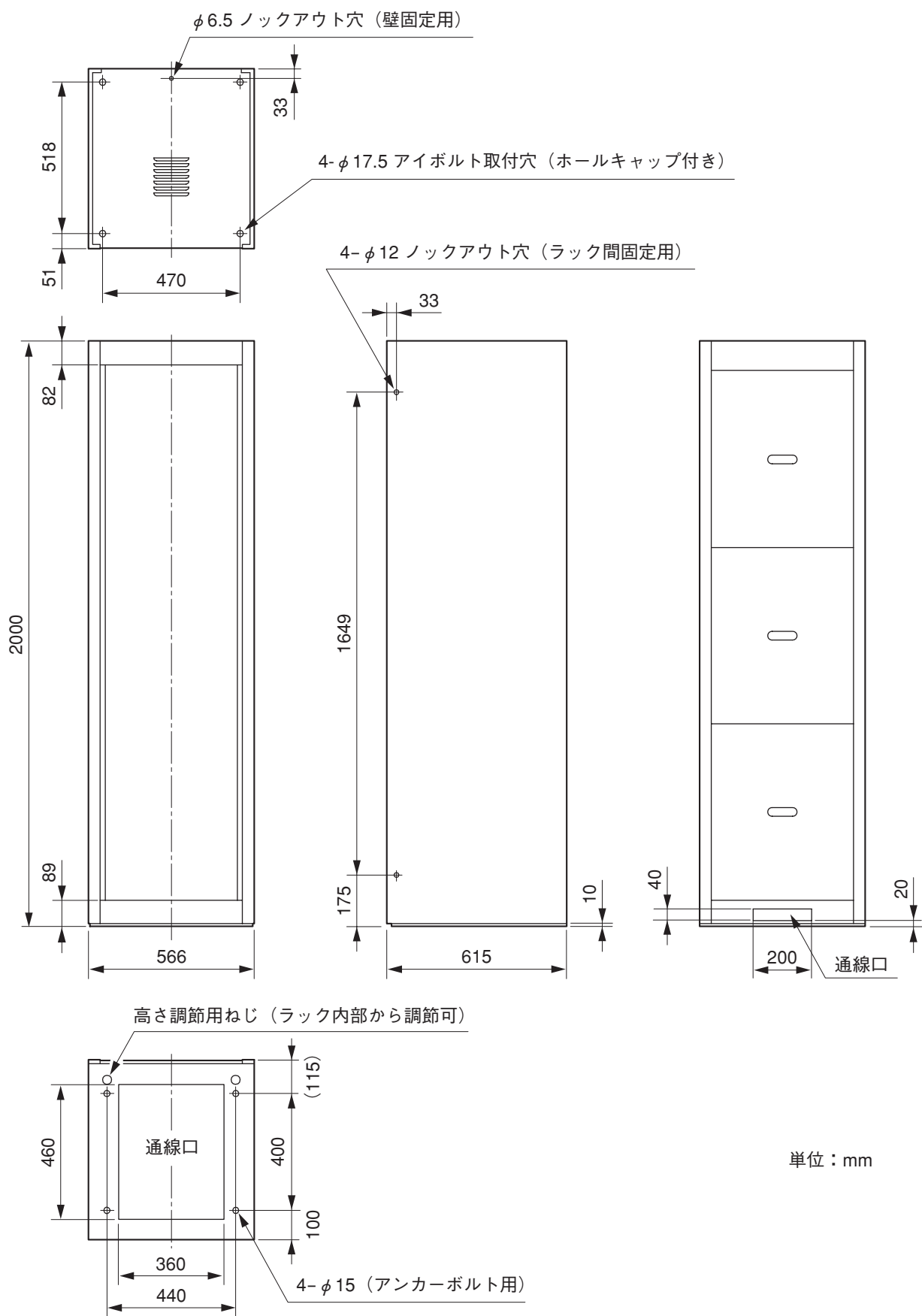
※ () 内は、実使用数です。

● ねじ以外の付属品の確認

付属品名称	数 量
ねじカバー	2 (190 cm)
ねじカバー金具	8
結束バンド	20

外観寸法図

パネル取付面からのユニット取付有効奥行寸法は 590 mm です。(ただし、後面補強金具の部分は 582 mm)



組み立てかた

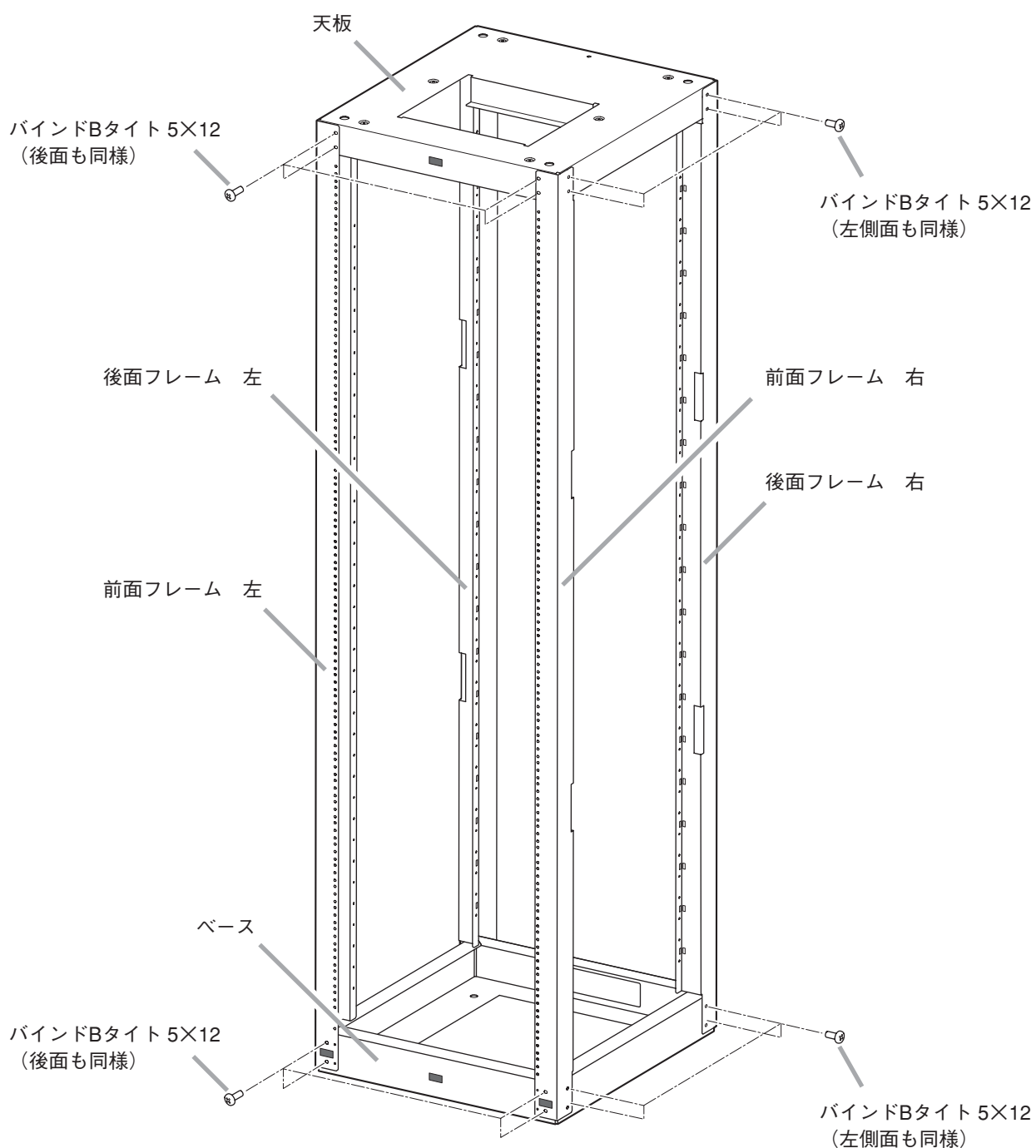
■ キャビネットラックの組み立て

ご注意

キャビネットラックの組み立ては、各部に貼り付けている部品名ラベル（）を読んで、位置を確かめてから組み立ててください。

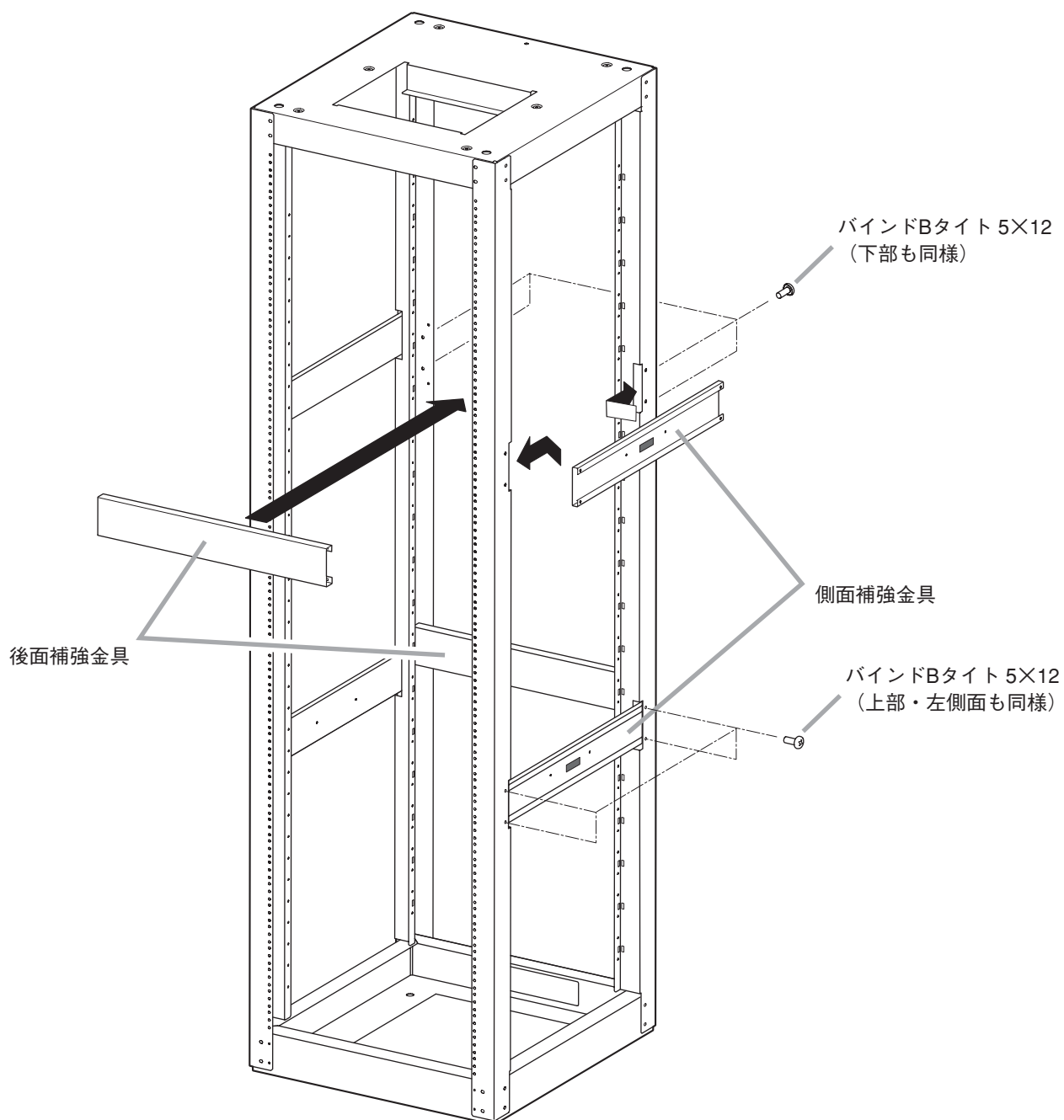
1 ベース、フレーム、および天板を組み立てる。

使用ねじ	バインドBタイト 5×12 …………… 32本
------	-------------------------



2 補強金具を取り付ける。

使用ねじ	バインドBタイト 5×12 24本
------	-------------------------

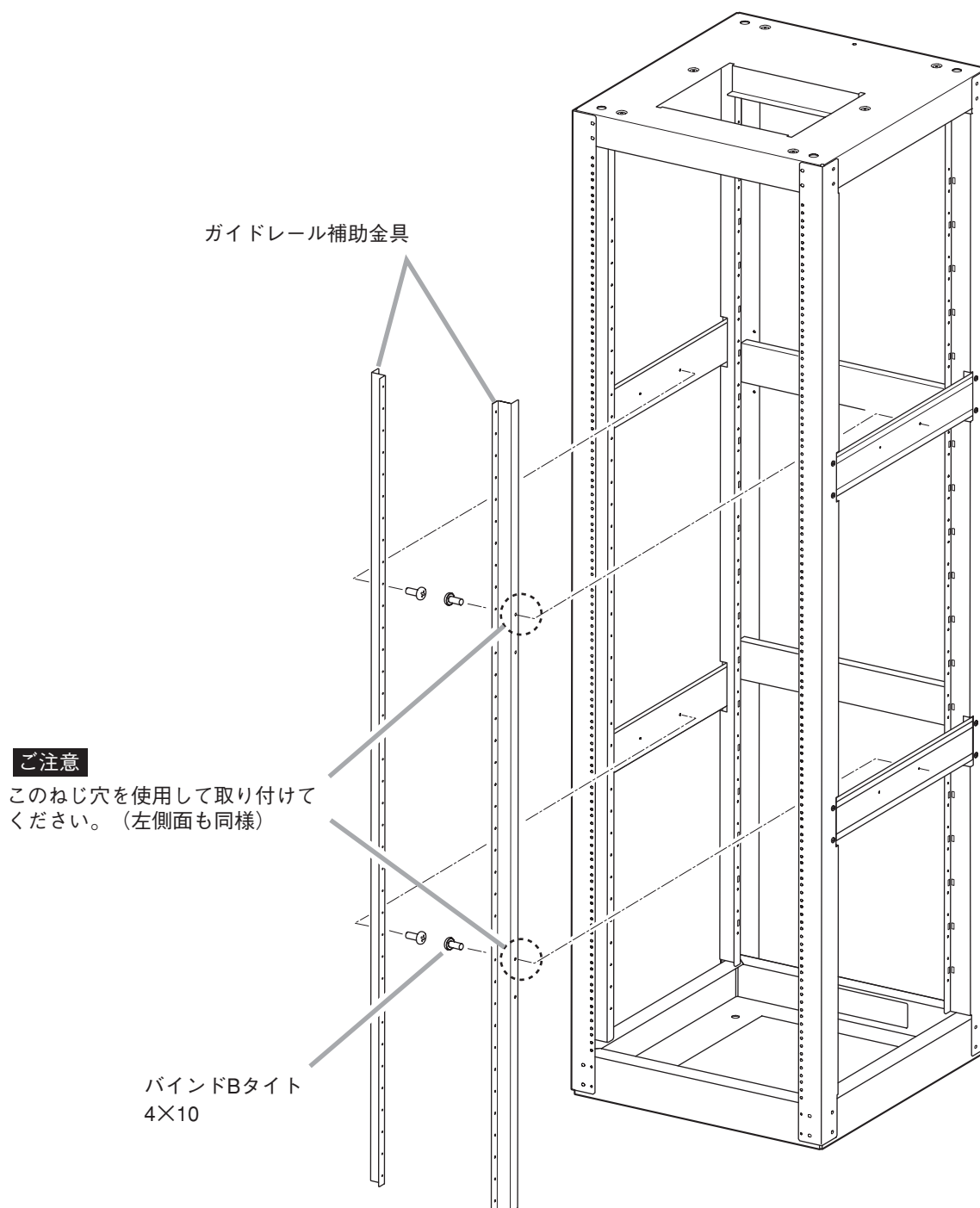


3 ガイドレール補助金具を取り付ける。

メ モ

- ガイドレール補助金具には、部品名ラベルを貼り付けていません。また、ガイドレール補助金具には左右の区別はありません。
- ガイドレールを使用しない場合は、ガイドレール補助金具を取り付ける必要がありません。

使用ねじ	バインドBタイト 4 × 10 …………… 4本
------	--------------------------

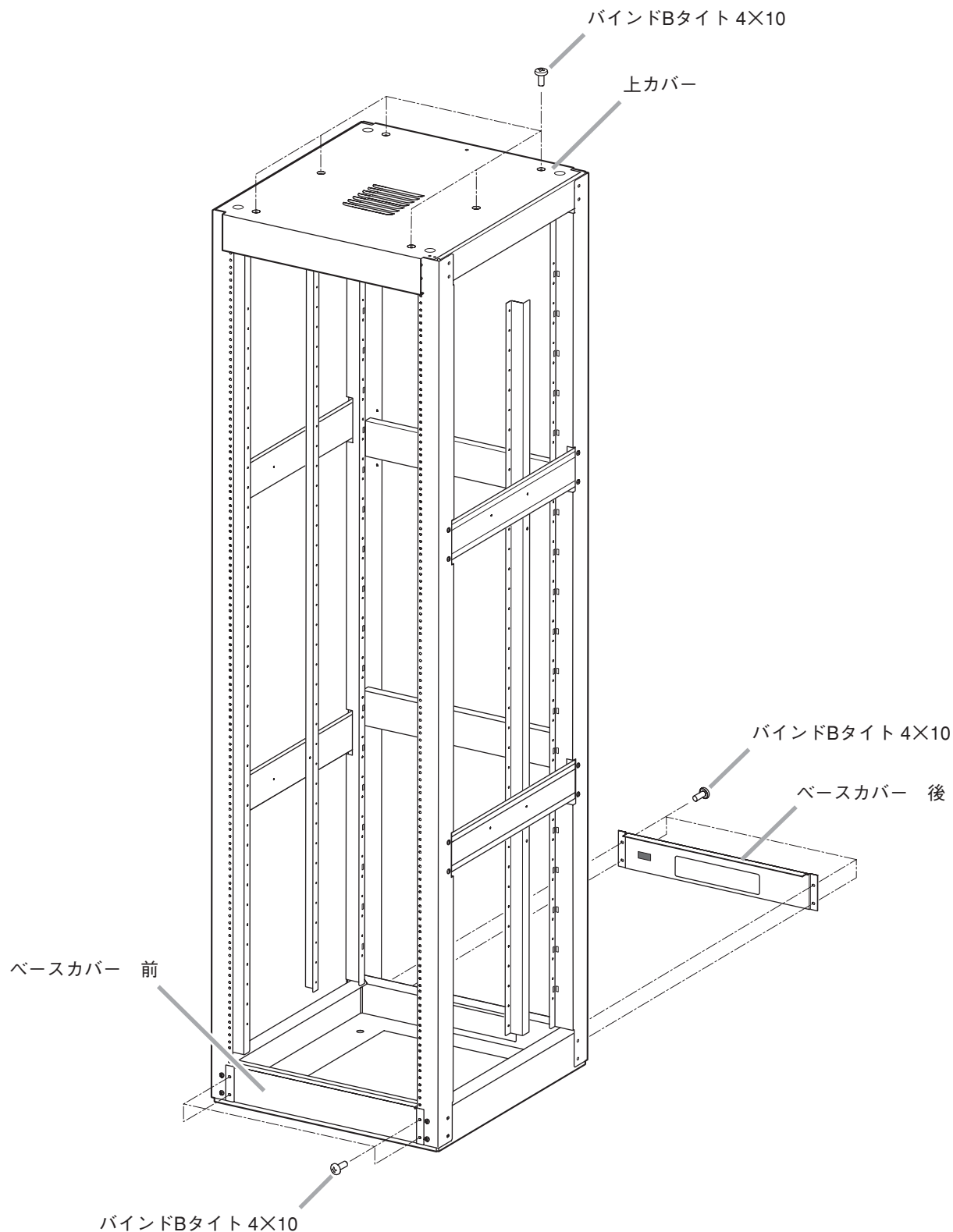


4 上カバーおよびベースカバーを取り付ける。

メ モ

各カバー部品には、傷や汚れなどを防ぐために保護シートを貼り付けていますので、設置後に保護シートをはがしてください。

使用ねじ	バインドBタイト 4×10 …………… 14本
------	-------------------------

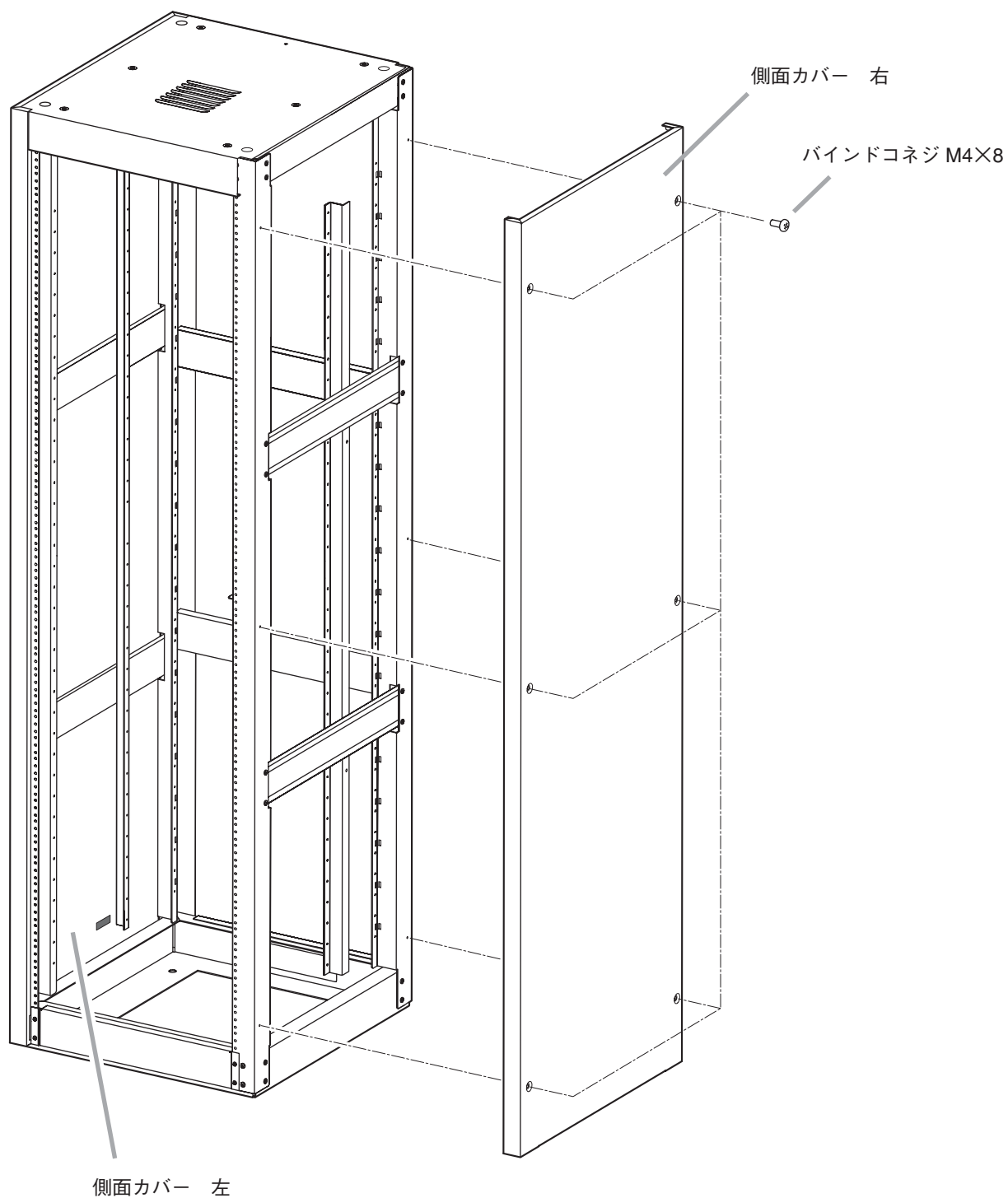


5 側面カバーを取り付ける。

メ モ

各カバー部品には、傷や汚れなどを防ぐために保護シートを貼り付けていますので、設置後に保護シートをはがしてください。

使用ねじ	バインドコネジ M4 × 8 12本
------	--------------------------

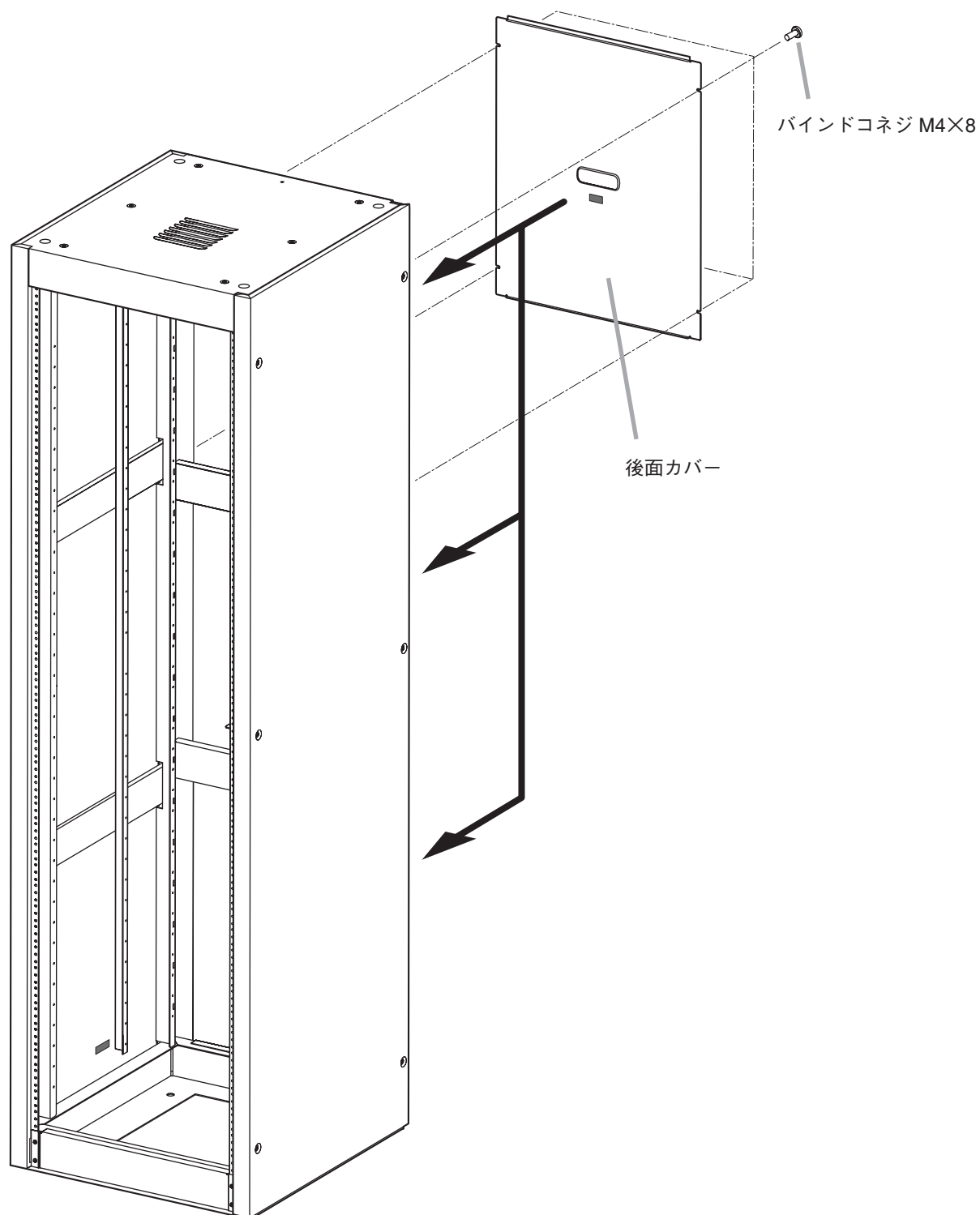


6 後面カバーを取り付ける。

メモ

各カバー部品には、傷や汚れなどを防ぐために保護シートを貼り付けていますので、設置後に保護シートをはがしてください。

使用ねじ	バインドコネジ M4 × 8 12本
------	--------------------------

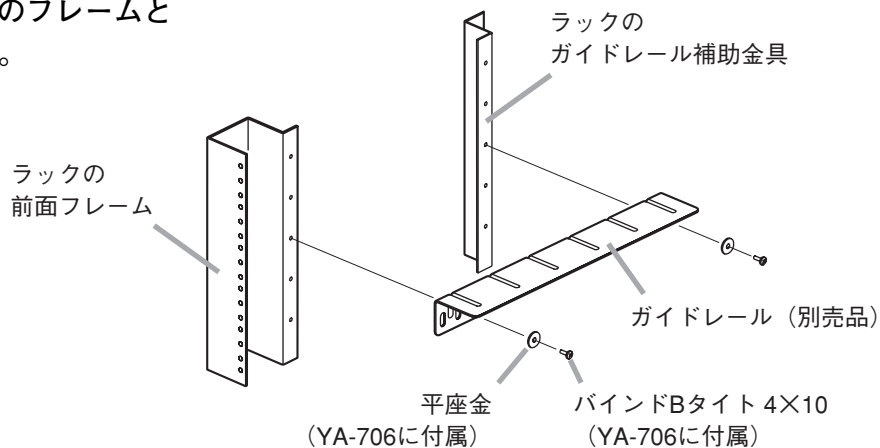


■ ガイドレール YA-706（別売品）の取り付け

ラックマウント機器の取り付け強度が要求されるときや、メンテナンス時にラック前面から容易に引き出せるようにするときに、別売のガイドレール YA-706 を取り付けます。

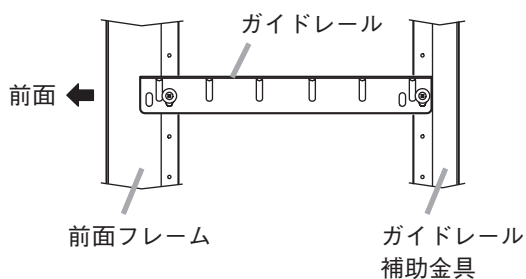
※ 図は、ラック左側面で説明しています。右側面も同様に取付けてください。

1 ガイドレールをラックのフレームと補助金具に仮止めする。

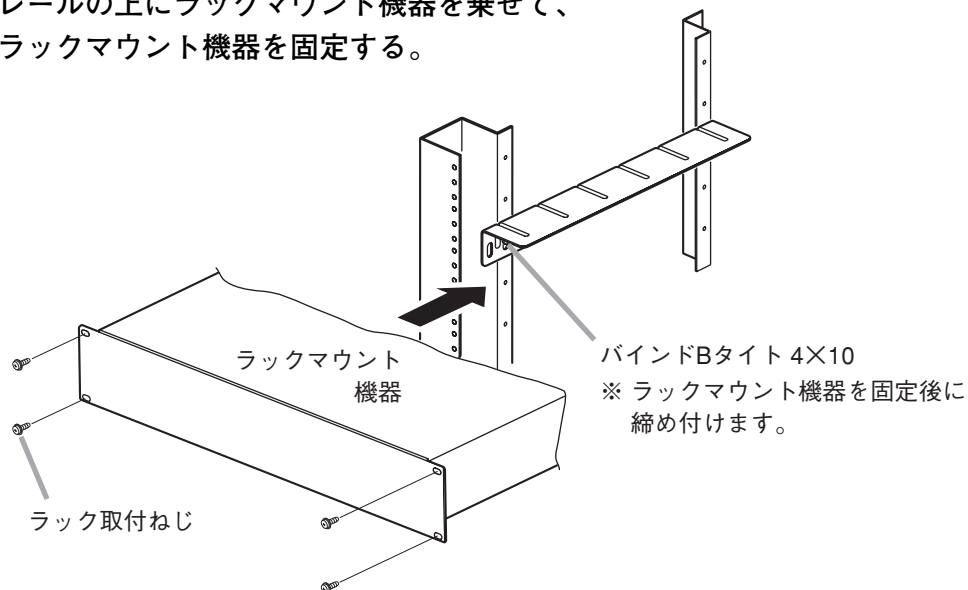


ご注意

ガイドレールは使用するねじ穴の位置に注意し、取り付けるときにラックの前面寄りになるようにしてください。



2 仮止めしたガイドレールの上にラックマウント機器を乗せて、ラック取付ねじでラックマウント機器を固定する。



3 仮止めしたガイドレールをラックマウント機器に合わせて固定する。

■ ブロウユニット BU-412（別売品）の取り付け

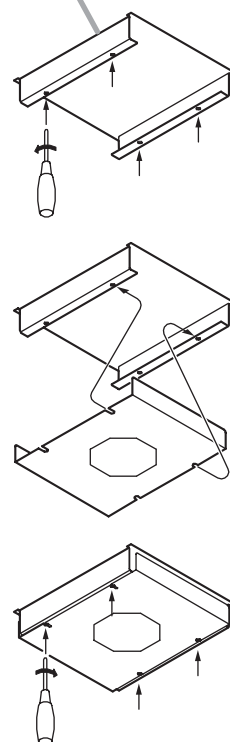
※ 取り付け要領は、BU-412の本体にも表示しています。

- 1 キャビネットラック天面内部のねじ（4本）をゆるめる。
※ ねじは取り外す必要はありません。

- 2 ブロウユニット前方の切り欠き穴をゆるめたねじに合わせ、次に後方の切り欠き穴を合わせる。

- 3 ゆるめた4本のねじを締め付け、ブロウユニットを固定する。

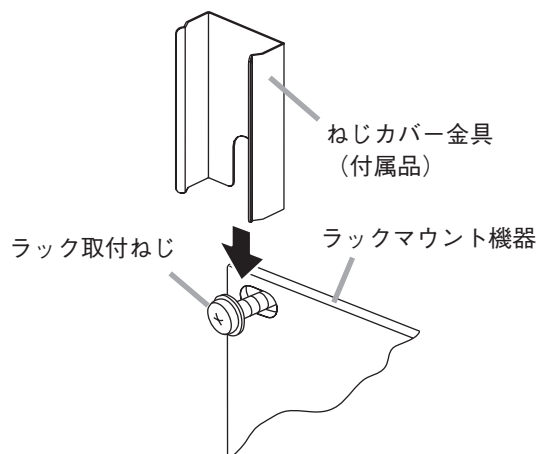
キャビネットラック
の天板



■ ねじカバーの取り付け

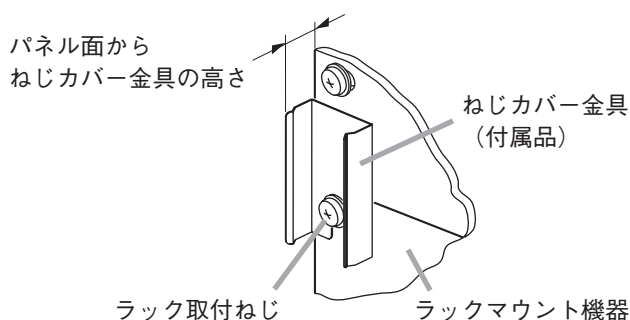
ねじカバーは、すべてのラックマウント機器を組み込んだ後に取り付けます。
ねじカバー金具は、8個（左右各4個を使用）付属しています。

- 1 ラックマウント機器を固定している任意のラック取付ねじをゆるめ、付属のねじカバー金具を取り付ける。

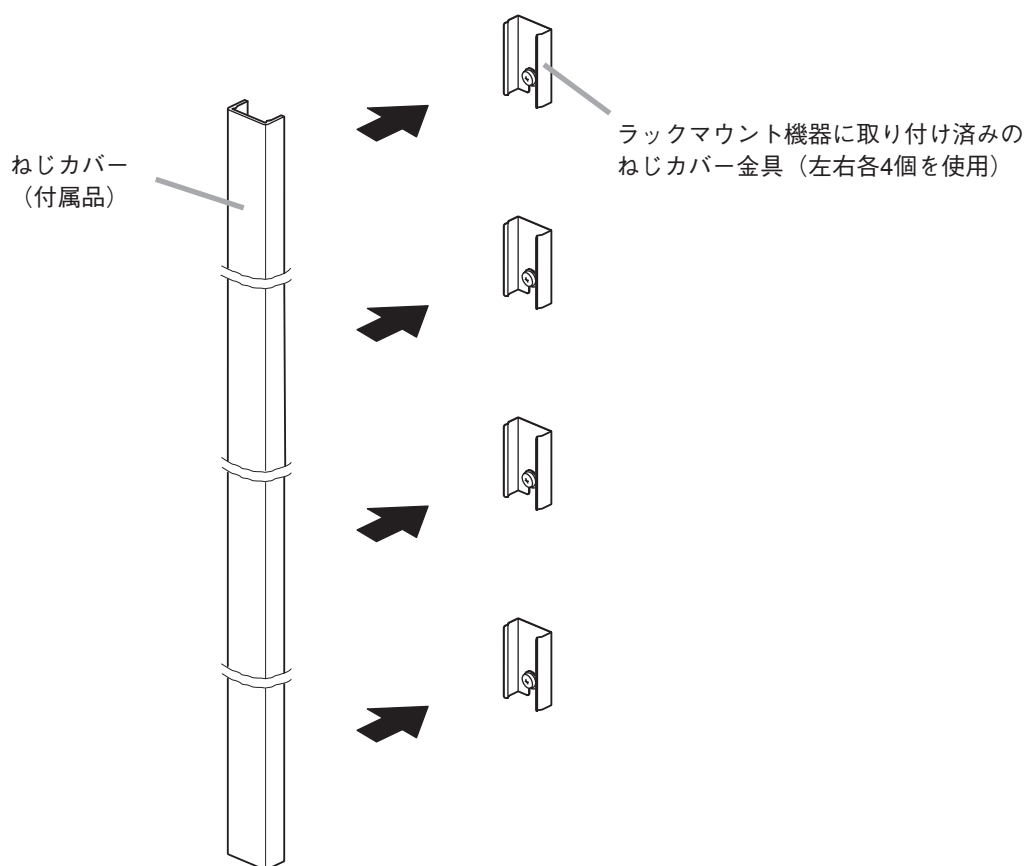


ご注意

ラックマウント機器は、マウント部の板厚が機器ごとに異なることがあります。
この場合、ねじカバー金具の下にスペーサーを入れ、パネル面からねじカバー金具の高さをすべて合わせてください。



2 付属のねじカバーをねじカバー金具にはめ込んで取り付ける。

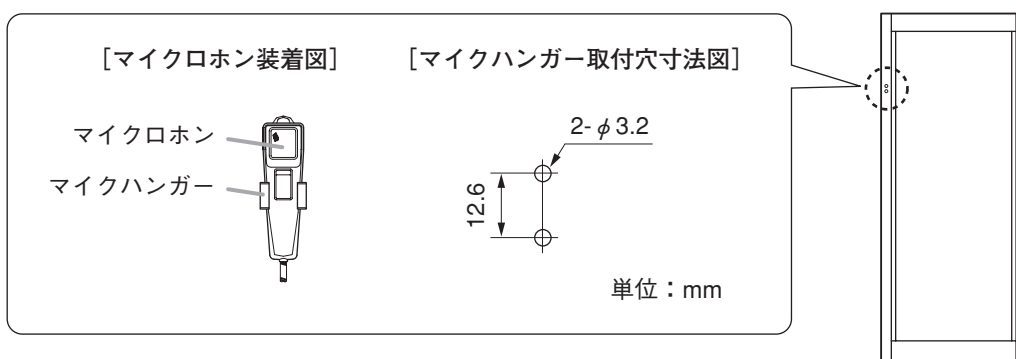


■ マイクハンガー 2202（別売品）の取り付け

ハンド型マイクロホンを常時設置しておくときは、別売のマイクハンガー 2202 をキャビネットラックの前面フレームに取り付けてください。

下図を参照して、前面フレームに取付穴を開けてください。

※ マイクハンガー取付ねじは、付属していません。以下のねじを別途用意してください。
タッピンねじ 4×10：2本



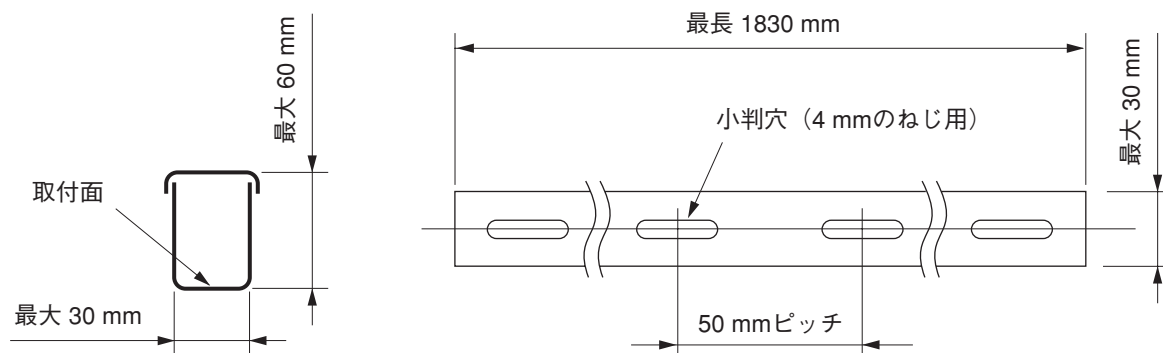
■ 配線ダクト（別途調達品）の取り付け

配線ダクト（別途調達品）を使って配線処理をするときは、以下の要領でダクトを取り付けてください。

※ 本機の後部両側に2本取り付けることができます。

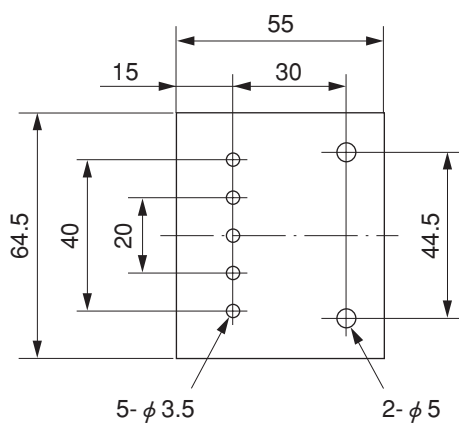
配線ダクトを使用するときは、以下の材料をご用意ください。

● 配線ダクト



● ダクト取付金具

下図に示す金具がダクト1本につき2個必要です。



単位：mm

板厚：1.6
材質：鋼板
処理：クロメートメッキ、塗装など

● ねじ類

タッピンねじ 4×10 3本（ダクト取付金具1個あたり）
平座金（M4用で外径が16 mm程度） 1枚（ダクト取付金具1個あたり）

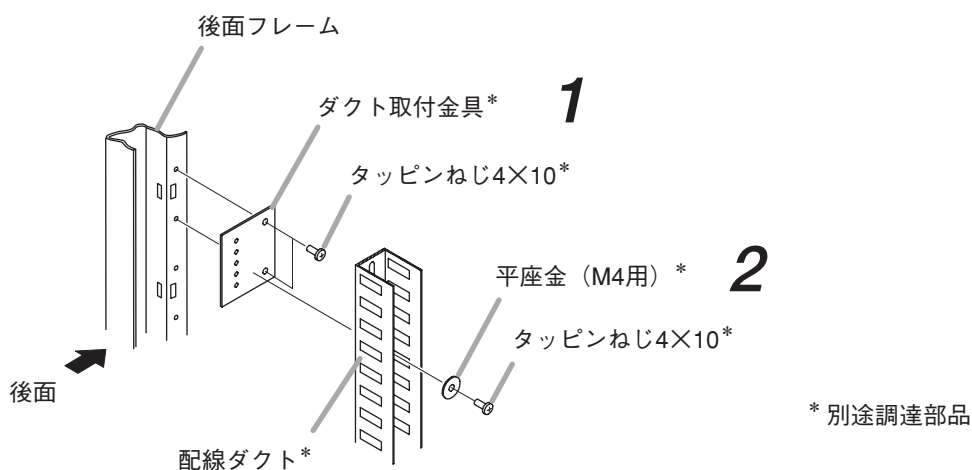
1 ダクト取付金具を本機の後面フレームの適当な位置に取り付ける。

2 配線ダクトをダクト取付金具に取り付ける。

使用ねじ	タッピンねじ4×10 3本（ダクト取付金具1個あたり） 平座金 1枚（ダクト取付金具1個あたり）
------	---

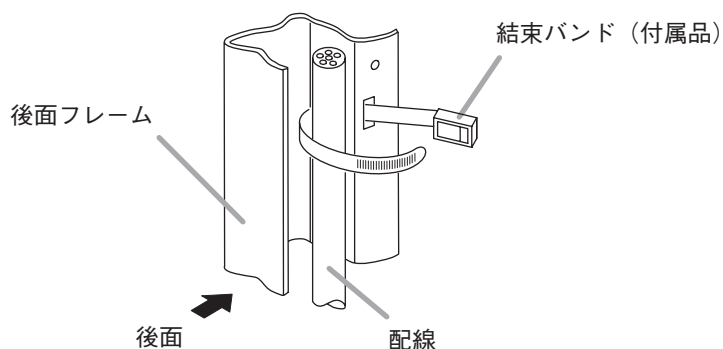
ご注意

- ガイドレールを取り付けている部分には、ダクト取付金具は取り付けません。
取付穴を適当な位置にずらしてから金具を取り付けてください。
- 配線ダクトを取り付けると、本機に組み込むラックマウント機器の有効奥行き寸法は、取付面から 540 mm となります。



■ 配線の結束

各ラックマウント機器の配線の結束は、付属の結束バンドを使って下図のとおりになります。



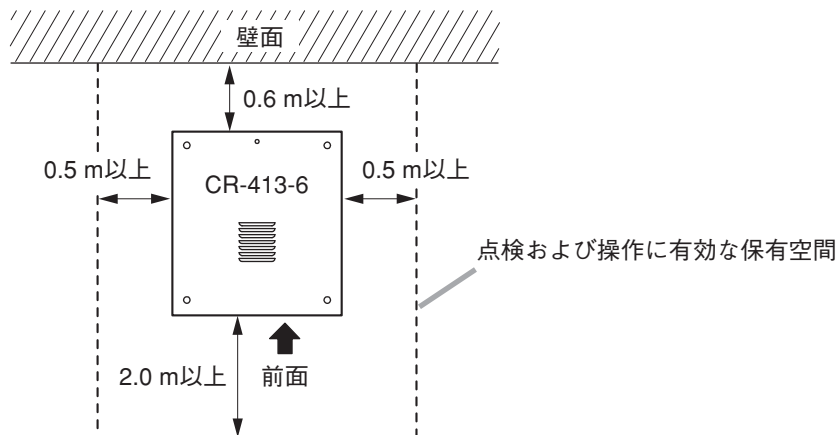
キャビネットラックの設置

■ 非常用放送設備としての設置

非常用放送設備として設置する場合は、下図のとおりに設置してください。

⚠ 注意

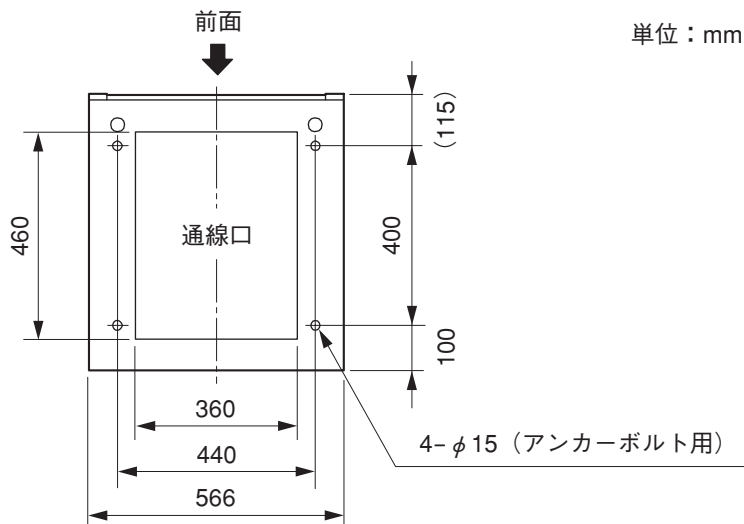
地震などによる転倒防止のため床面にはアンカーボルト、壁面には金具などで固定してください。
倒れたり、動いたりして、けがの原因となることがあります。



※ 業務用放送設備として設置する場合にも保守点検を容易にするため、できるかぎり上図のように設置してください。

■ 床面への固定

- 床面に固定するためのアンカーボルト用の穴（4- ϕ 15）がベース底面にあります。
- 下図のベース底面寸法を参考にして、アンカーボルト（M10～12）で床面に固定してください。

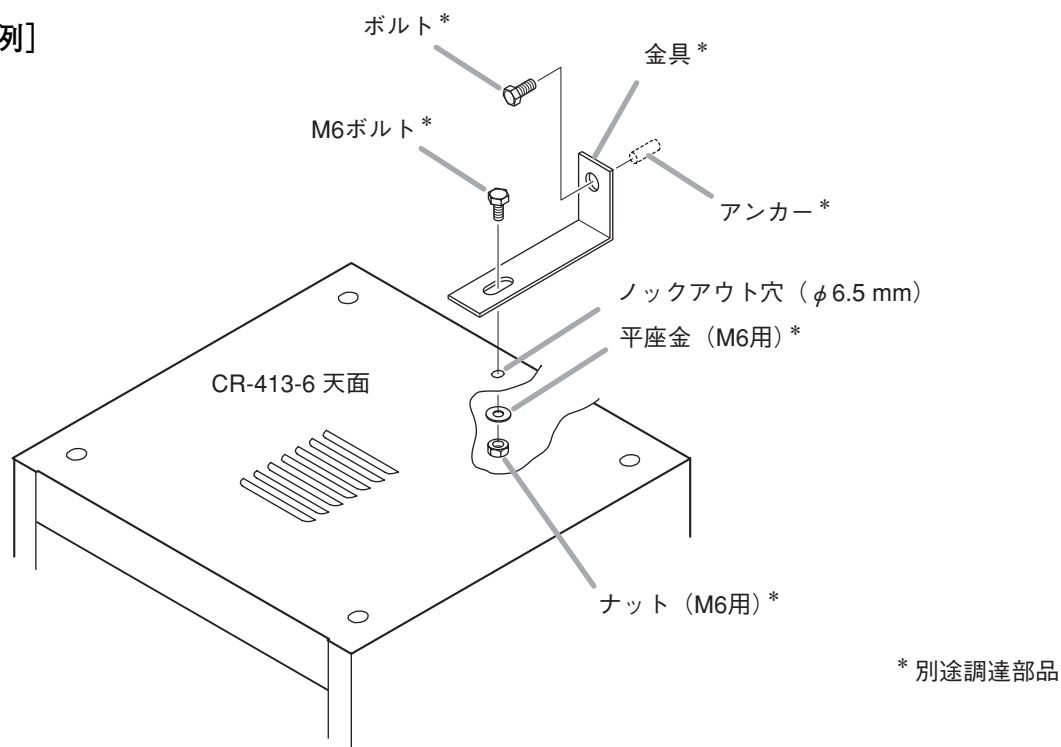


■ 壁面への固定

キャビネットラック天面にノックアウト穴（ $\phi 6.5$ mm）があります。（ P. 5）

このノックアウト穴をドライバーなどで突き破り、金具（別途調達部品）で壁面に固定してください。

[施工例]



■ 並列設置時のラック間固定

キャビネットラック側面にノックアウト穴（ $\phi 12$ mm、片面各2個）があります。（ P. 5）

並列設置時には、これらの穴をドライバーなどで突き破り、M8程度のボルトとナットで連結してください。

■ ラック吊り下げ時のアイボルトの取り付け

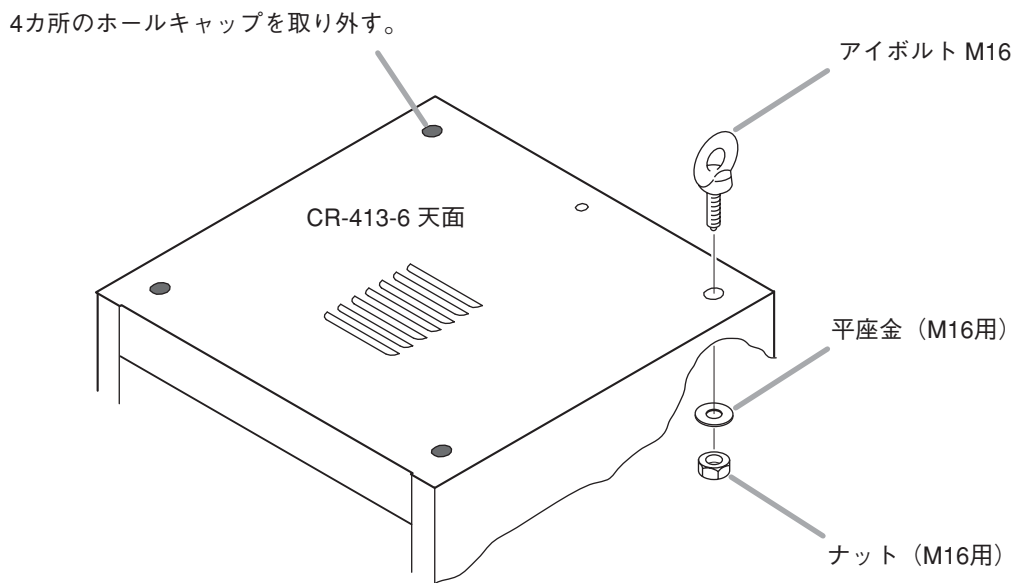
キャビネットラック天面に吊り下げ用のアイボルトを取り付けることができます。

●別途用意するもの

アイボルト M16 (JIS B 1168 規格品)		4 本
ナット (M16用)		4 個
平座金 (M16用、JIS B 1256 規格品)		4 個

天面のホールキャップ4個を取り外し、下図のようにアイボルトを取り付けてください。

ご注意 吊り下げ総重量は、最大 300 kg です。



■ ラック設置時の高さ微調節

キャビネットラックを床面に設置して、ガタツキが生じるときや本機の天面が水平でないときは、ベース底面にある高さ調節用ねじ (P. 5) を回して、高さの微調節をしてください。
調節のときは、マイナスドライバーを用意してください。

■ 接 地

キャビネットラック内部のベース後部に接地端子用のねじ (M5) を3本用意していますので、これを使って接地します。

メ モ

ベース前部には、ねじ穴 (M5) を3カ所用意していますので、必要に応じてお使いください。

TOA お客様相談センター	フリーダイヤル 0120-108-117	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、および カタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの 営業所へお申し付けください。最寄りの営業所に ついては、TOA ホームページをご確認ください。
商品の内容や組み合わせ、設置方法などにつ いての技術的なお問い合わせにお応えします。 受付時間 9：00～17：00（土日、祝日除く）	ナビダイヤル 0570-064-475（有料） FAX 0570-017-108（有料） ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	
当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。		

TOA ホームページ <http://www.toa.co.jp/>

TOA 株式会社

H33-05-002-0A